

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	01040101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行	<input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	水道施設更新事業(継続)	担当部署名	上下水道課		
		作成責任者職氏名	課長 赤阪 秀樹	内線	410
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	01安全・安心・環境	04水の安定供給	01水道施設の整備・補強		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	水道法、千早赤阪村水道事業給水条例他	義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>安全で安定した水の供給を図る。</p> <p>②内容</p> <p>老朽化した水道施設(取水・浄水・配水)の更新事業を行う。</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>・村民生活の安定的なライフラインの確保</p>	<p>・財政的負担</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	25,725	10,462	26,723	55,184			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	10,600	2,700	6,100	14,500		
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債	0	13,600	5,700	18,100	40,200		
	その他の特財 一般財源	0	1,525	2,062	2,523	484		
人件費								
一般職員所要人員(人)(B)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	5,546	5,890	5,890	5,890	5,890			
総コスト費(千円)(A+C)	5,546	31,615	16,352	32,613	61,074			
人口あたりコスト(円)	915	5,217	2,698	5,382	10,078			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	配水管整備	m	350	0	0%	650	1600
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 1 = 0% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	老朽管の解消により、安定給水を図る
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	老朽管の更新により、有収率の向上を図る
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	補助金を使用することで効率化を図る
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	地区の偏りはありますが、補助対象地域の施工により住民負担の軽減に努める。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **15** / 16 **94%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
0%	94%	47%	d
a:90%以上(現状維持又は拡充) d:30~49%(休止・廃止又は縮小) b:70~89%(見直し又は現状維持) e:30%未満(休止・廃止) c:50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
A	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
水道施設整備及び老朽管更新工事を施工することにより、安全で安定した水の供給を図るために更新事業は必要である。ただし、更新工事においては、継続的な事業費が必要であるため財源的負担の確保が懸念される。平成25年度の事業については、委託業務の施工のみとなっております。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

VC	
水道施設整備及び老朽管更新工事を施工することにより、安全で安定した水の供給を図るために更新事業は必要であると考えます。ただし、更新工事においては、継続的な事業費が必要であるため財源的負担の確保が懸念される。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
水道施設整備及び老朽管更新工事を施工することにより、安全で安定した水の供給を図るために更新事業は必要であると考えます。ただし、更新工事においては、継続的な事業費が必要であるため財源的負担の確保が懸念される。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止